

## 第3回連絡会議録

■開催日時：2023年2月15日(水) 19:00～21:00

■参加者：<順不同・敬称略> 櫻井芳寛、迫一美、須藤和子、竹原貢、塚田光博、辻昭彦、露久保孝一、  
中田幹雄、服部安恵、広瀬富子、福里清信、成井俊昭、吉浜健二 田中清治(記録)14名

■議事進行：総務部部長 辻昭彦 ■議長：竹原会長

■実施場所：オンライン ■オンライン運営：情報システム部部長 福里清信



■議題：1:「会員増に向けて」

1-1)現状報告(竹原会長)

1-2)「会員増加促進策・私案」(中田同好会部長)

1-3)「会員増・維持対策」(迫企画部長)

1-4)事例紹介(田中広報部長)

2:「卒論発表会のサポート体制について」(塚田渉外部長)

■議事要旨

1-1):現状報告(竹原会長)⇒詳細は添付PDF「資料1:竹原さん基礎資料」参照

※添付データは厳密には一部誤差があるため正確には過去の「会報」参照。

① 正会員数の推移について

・2016年以降増減を繰り返しているが漸減傾向。

・退会予備群を抱えており、安定した新入会員の確保が必須。

② 会員増への考え方

・新塾員に対する策と既存会員に対する策の両面で。⇒当会の魅力を伝える為に当会の広報を活発にして会員との接触機会を増やす。

・新塾員に対しては慶友会との連携・信頼関係をつくる活動を。

例:当会の行事に招待、レガッタ・卒論発表会・同好会などに招待。

・既存会員に対しては「楽しい三田会」の体験できる場を提供。

例:HP・会報の活用等で新会員の紹介・魅力ある記事等の発信。

1-2):「会員増加促進策・私案」(中田同好会部長)

⇒詳細は添付PDF「資料2:中田・迫・塚田資料」の「中田資料」参照

・「新卒者・既卒者」を会員に勧誘する手法として①ホームページ②書面③対面の3方面で考える。

① ホームページでは、「会員勧誘のための特設サイト」を設置し、「会長挨拶」「KTM 紹介動画」「ニューパンフレット」等で構成し、「入会申込書」もセットにするなど。

② 書面では、新塾員の一人一人に勧誘のお手紙を出す。例として、竹原会長名で直接入会を呼びかける挨拶文をニューパンフレット(活動内容に特化)に同封し、ホームページの「特設サイト」に誘導し、入会を促進する。

③ 対面では、興味のある同好会に体験参加してもらおう。新卒者対象に散策同好会(鎌倉散歩)を企画する。(鎌倉散歩なら気軽に参加しやすいかも)。

「卒業祝賀会」への協賛の可能性を探る。

・通信の「卒業祝賀会」に「KTM 紹介コーナー」を設置させていただく。(何らかの形での協賛?) ☆浜慶の「卒業生を祝う会」に協賛など。

・横浜慶友会の「卒業生を祝う会」に「KTM 紹介コーナー」を設置させていただく。(何らかの形での協賛?)

・慶早交流会の利用・慶早戦、レガッタに招待して雰囲気味わってもらおう。

### 1-3)「会員増・維持対策」(迫企画部長)⇒詳細は添付 PDF「資料2: 中田・迫・塚田資料」の「迫資料」参照

A サービス/クオリティ B 会員とのコミュニケーション C 認知拡大・プロモーションの視点から。

A のサービス/クオリティでは、

① 会員のニーズを把握して施策に反映する(解約時にできるだけ理由を聞き出す)。

② 既存イベントの充実や新規イベント実施ほか。

③ 入会勧誘時に入会されない場合は入会しない理由を聞き出し施策に反映する。既存イベントの充実や新規イベント実施ほか。

B の会員とのコミュニケーションでは、HP や SNS の一層の充実を図る。

C の認知拡大・プロモーションでは、

① 新規加入勧誘は、原則卒業名簿を受領した時点で本人宛会報等を同封し実施している(続く3年間は会報送付)。

② 毎年会長等が通信教育課程卒業祝賀会にて入会勧誘を行っている。卒論発表会へ前年度卒業生を招待(懇親会は無料招待)以前実施していた。

③ 既存イベントや新規イベントへ招待するなど新たな入会動機のチャンネルを作る。

④ 新規入会者の声を HP や会報等に掲載する

### 1-4) 事例紹介(田中広報部長): 資料無し

・新塾員(非会員)向けの案内は2・3年で終了させず長期間の送付が必要では。卒業してすぐに「三田会」に入会するとは限らない。費用を考慮して「封筒」案内を「はがき」郵送にすると半額になり長期郵送が可能では。「はがき」に QR コードを入れることによって HP・イベント・同好会等の情報が提供できる。

事例: 早稲田大学「稲門会」は「はがき」で10年後にも卒業生に郵送。

・新塾員の当会の知名度は未知数のため、はがきデザインは一目で「慶應義塾」などが分かる VI: ペンマーク等を入れて信頼性を高め、開封率も高める。

### 2: 「卒論発表会のサポート体制について」(塚田渉外部長)

⇒詳細は添付 PDF「資料2: 中田・迫・塚田資料」の「塚田資料」参照

●2023年卒論発表会・懇親会は、同年6月24日(土)13時~17時30分 日吉キャンパス開催予定

●発表者の選定=3月下旬~4月上旬

以下に該当する方で、発表に相応しい論文であること。

・神奈川通信三田会会員で、役員をやられている方

・神奈川通信三田会会員の方

・県内慶友会に所属された方

●当面の課題

・湘南慶友会は、どうするか?

・オンライン、リアル開催のどちらでやるか？

・リアルの場合は、ハイブリッドでやるか？

・予算の支出

⇒総会・卒論発表会他（54,000）

⇒教室代(約3万円)、記念品代(2000×5=10000)、

⇒宴会補助(発表者用:3000×5)？発表者の費用負担が難しい。

●当日役割：渉外、企画、総務、会計、塾員部、司会進行、会場設営、受付(資料配布・会計)、入会管理

●会場確保:3月中旬から開始;日吉キャンパス

●懇親会はどうするか

3月中旬～ 学内で行う場合は、教室確保と同時。企画部に依頼したい。

懇親会会場予約 当日出欠確認 会計

会場候補 ファカルティ・ラウンジ …値段が高い 4600円～

大学食堂 2 階、6 号館等 …貸出予約は、即決がでない

日吉駅付近の飲食店 …車イス対応は難しい 4000円～

●発表者の決定、会場の確保後 4月上旬

●広報担当へ:日吉の杜春号掲載:予告

※参加者意見:まとめ要約

・会員増の基本的方向は賛同する。各施策は実施方法・費用等で詳細の検討・合意が必要だが実施に向けて進めたく考える。

・ホームページの拡充は技術的には対応できるので内容等を詰めて実施していきたい。

・神奈川通信三田会の認知度や会員に向けた活動の広報は十分とは言えないため、HP や会報やメールの活用を一層充実するのはよいことだと考える。

・このような「連絡会議」での情報交換は有意義だと思う、今後も継続していくべきかと考える。

◆事務局

⇒「会員増に向けて」の各施策案は、実施検討に向けて次回連絡会議でも取り上げを予定。